



証券コード:6943



第72期中間報告書

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

NKKスイッチズ株式会社

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 中間配当
毎年3月31日 毎年9月30日	
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。	
・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。	

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ
〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

「もの」から「こと」へ。 お客様潜在需要の深耕に 取り組んでいます。

この半年間の産業用スイッチ業界の状況と 業績の概況から伺います。

当上半期の世界経済におきましては、各国が緩やかな回復基調にあるものの、世界的な政情不安や地政学リスクの高まり、中国経済の回復の遅れ等により、先行き不透明な状況が続いております。また日本経済におきましても、不安定な国際情勢に加えて、原材料・エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇の影響継続など、先行きに対する不透明感がさらに強まっております。

こうした環境の中、当社グループは2022年度から3カ年の中期経営計画Ⅰに取り組んでおり、最終年度となる2024年度も持続的な成長に向けて積極的な投資を行っております。

売上面では、数年前からの過剰な先行発注によって積み上がった市場在庫により、厳しい受注環境が継続しました。しかし市場が動かない中でもグローバル特定市場につきましては、販売、FAE（Field Application Engineer：技術営業）、開発の各部門が懸命に努力したことで、今までなかった新たなデザインウィンが決まり始めています。

利益面では売上が低調だったことに加えて、原材料・エネ

代表取締役社長

大塚智成



ルギー価格の高騰の継続等が影響して、減益となりました。

これらの結果、当社グループの2025年3月期上半期における売上高は39億66百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益は15百万円（同96.0%減）、経常利益は8百万円（同98.1%減）となりました。

中期経営計画Ⅰの最終年度ですが、 重点テーマの進捗状況をお聞かせください。

当社グループは、2022年度からの3年間にわたる中期経営計画Ⅰにおいて、「信頼し、信頼される良い会社」を目指し、「信頼」と「納期」を重点テーマに掲げてグループの総力を結集してこれらに関する戦略を展開しております。この間、数値としてはまだまだ満足できる結果が出ているわけではありませんが、過去と比較すると徐々に良くなってきていると考えており、この動きを止めることなくさらに前進させる考えです。

「信頼」につきましては、社内の信頼関係を強固にするため、この上半期においても経営と社員との対話を継続してまいりました。また、経営の考えを社員に伝えるため、経

営の取り組みを社内ポータルサイトで発信する活動を継続したり、グループ理念を社員に分かりやすく伝えるためにグループ理念の言語化に取り組みました。

「納期」につきまして、この問題の一番の課題である部品の安定調達に向けて、ボトルネックである金型の抜本的な改善に取り組んでいます。更新金型や隘路金型対応は、この2年間は以前と比較すると4倍を超えるペースで対応を進めており、今期はさらにそれを上回るペースで進んでいます。このような納期問題を根本的に解決するための投資が、ゆくゆくは我々の武器になると考えております。

これからも「信頼」と「納期」の追求を永遠のテーマとして、中期経営計画Ⅰが終了した後もブラッシュアップを続けてまいります。

FAEに対するお客様の評価は いかがでしょうか。

お客様自身が気づいていない潜在的なニーズをいかに引き出すが、我々にとって究極の課題と言えます。FAEは単にお客様とのミーティングに参加するのではなく、それまでの対応からニーズを予想してサンプルを製作して提案しており、お客様との信頼関係の構築に大きく貢献しています。FAEの人数は限られていますが、営業所と連携したりオンラインを活用したりすることで、物理的な距離に制約されず、多くの案件に対応できています。

人事評価制度が目指すものは どのようなものですか。

当社は約10年前にそれまでの年功序列型の人事評価制度から能力・成果型に移行しました。しかし、時代の変化と

ともに社員の働き方や価値観が多様化し、現行制度では対応が難しくなってきました。そこで、グループ理念であるGreat Small Companyから書き下ろした人事方針を明確にし、その上で人事基本戦略に基づいた新しい人事制度を構築しました。

社員が成長してこそ、会社は成長できます。社員の成長なしに、会社の成長はありません。新たに設計した人事評価制度は、一人ひとりの成長を後押しすることを目指しています。例えば、過去の人事評価制度では昇進しなければ給与が上がりませんでした。新制度では管理職にならなくてもスキルを上げそのスキルを発揮すれば給与が上がるシステムに変更しました。また、チャレンジを促すため、たとえ失敗してもマイナス評価をせず、プラス評価しかないチャレンジ目標を新設しました。

この新人事評価制度はすでに2024年10月から管理職を対象として導入しております。また、本制度を社員と会社の成長につながるより良いものにするため、今後も定期的に見直していく考えです。

最後に、株主の皆様への メッセージをお願いします。

当上半期は、在庫調整局面の中で厳しい結果となりましたが、現在は一部地域を除き、市場在庫は通常の水準まで戻りつつあり、下半期は受注が回復するものと予想しております。

また、2025年3月期は中期経営計画Ⅰ「信頼し、信頼される良い会社」の最終年度にあたるため、今の取り組みをさらに前に進め、必ず結果に繋げて2025年度から始まる次の中計Ⅱにつなげてまいります。

株主の皆様には何卒ご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

グローバルな販売促進活動を展開

当社グループは、世界での企業価値の向上を目指す中で、グローバルな販売促進活動を実施しており、その一環として強化しているグローバル特定市場を中心として世界の展示会に積極的に参加しています。さらには世界に広がるインターネットを駆使し、お客様の潜在需要を掘り起こすための動画をはじめとする精力的なコンテンツの拡充を図っています。今後も世界での企業価値の向上を目指してまいります。



▲ドイツで開催された国際鉄道技術専門見本市InnoTransに出展

日本	ロボットテクノロジージャパン（7月）
中国	electronica China 2024（7月）
インド	electronica India 2024（9月）
ドイツ	InnoTrans（9月）
オランダ	IBC（9月）

生産効率の向上

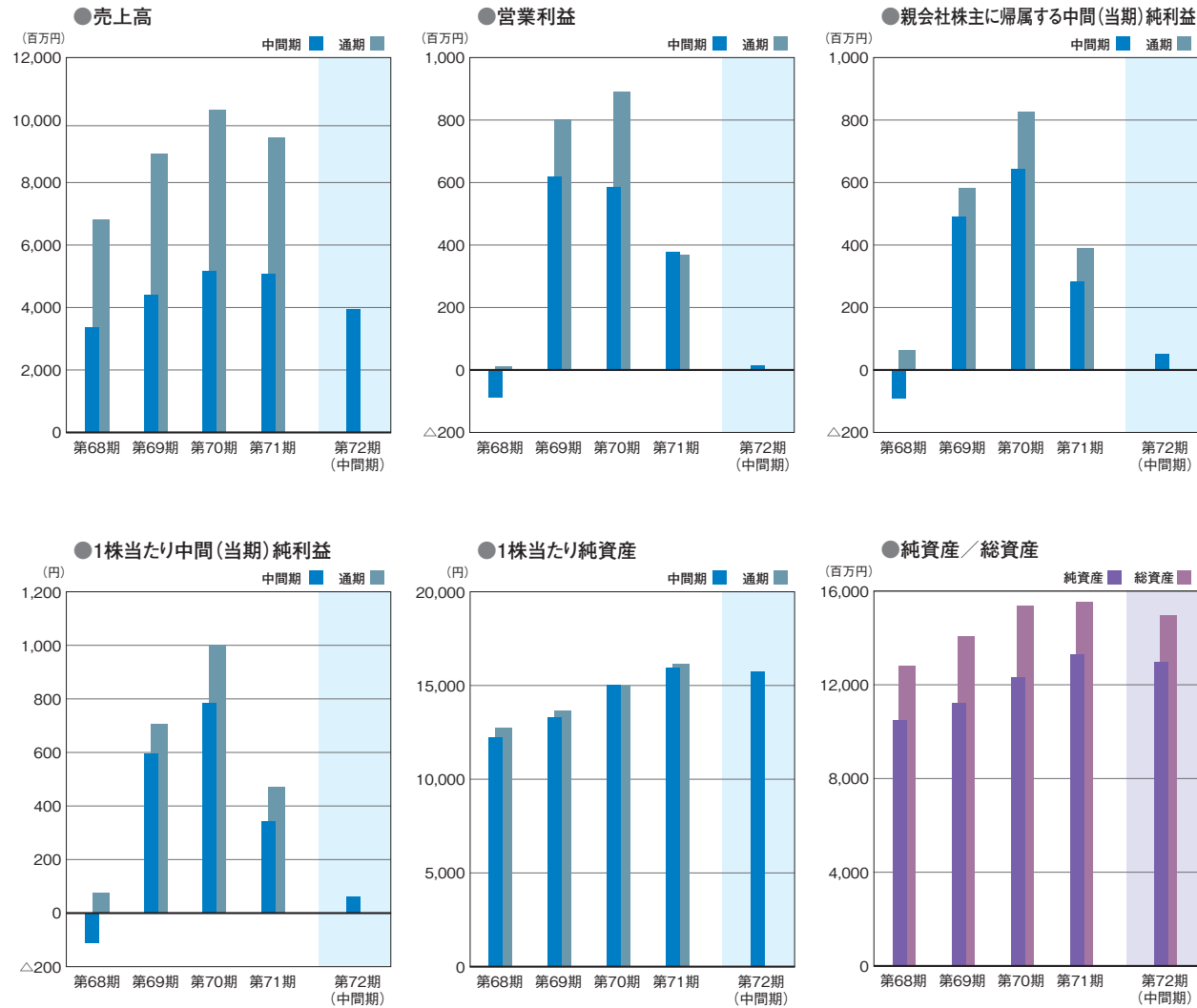


▲自動組み立て機

当社グループは、原材料価格や人件費の高騰に対応するため、生産工程、調達方法やサプライチェーンの見直しなどを積極的行っています。

生産工程の見直しでは、生産効率の向上のため今期も新たに複数台の自動組み立て機を導入し量産を開始しています。また、来期に向けてもマクタン工場や横浜工場向けに自動組み立て機の導入準備を進めています。今後も

成長に向けた投資を継続し、グループ一丸となって生産効率の向上を図ってまいります。



■ 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間 連結会計期末 (2024年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,689,454	10,032,344
固定資産	5,268,791	5,503,115
有形固定資産	3,237,811	3,359,995
無形固定資産	350,886	253,712
投資その他の資産	1,680,093	1,889,406
資産合計	14,958,245	15,535,459
負債の部		
流動負債	1,280,983	1,516,174
固定負債	707,446	747,256
負債合計	1,988,430	2,263,430
純資産の部		
株主資本	11,404,419	11,410,152
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,782,134	9,787,867
自己株式	△ 162,818	△ 162,818
その他の包括利益累計額	1,563,495	1,859,970
その他有価証券評価差額金	532,214	611,373
為替換算調整勘定	1,031,280	1,248,596
非支配株主持分	1,900	1,906
純資産合計	12,969,815	13,272,029
負債純資産合計	14,958,245	15,535,459

■ 中間連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	当中間 連結会計期間 2024年4月 1 日から 2024年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2023年4月 1 日から 2023年9月30日まで
売上高	3,966,990	5,073,587
売上原価	2,246,230	3,006,295
売上総利益	1,720,759	2,067,291
販売費及び一般管理費	1,705,744	1,690,800
営業利益	15,015	376,491
営業外収益	43,340	70,173
営業外費用	50,144	9,274
経常利益	8,210	437,389
特別利益	89,255	247
特別損失	－	221
税金等調整前中間純利益	97,465	437,416
法人税、住民税及び事業税	12,275	151,624
法人税等調整額	33,335	2,221
中間純利益	51,854	283,570
非支配株主に帰属する中間純利益	△ 6	416
親会社株主に帰属する中間純利益	51,860	283,154

■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当中間 連結会計期間 2024年4月 1 日から 2024年9月30日まで	前中間 連結会計期間 2023年4月 1 日から 2023年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	834,474	42,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 211,116	△ 929,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 89,759	△ 86,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 67,299	227,636
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	466,297	△ 745,828
現金及び現金同等物の期首残高	4,840,626	5,388,497
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,306,924	4,642,669

■ 会社概要

商 号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創 業	1951年4月1日
設 立	1953年12月11日
資 本 金	951,799千円
本 社 事 務 所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事 業 所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所 川崎事業所
主 な 事 業 内 容	産業用各種スイッチの製造・販売
連 結 子 会 社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷（上海）开关有限公司 NKK Switches Europe GmbH NKK Switches Mactan, Inc. 恩楷楷开关（东莞）有限公司
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上 場 取 引 所	東京証券取引所

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大 橋 智 成
取締役副社長	大 橋 宏 成
取 締 役	海 老 沼 博 行
取 締 役	芦 澤 直 太 郎 (社外)
取 締 役	津 留 崎 貴 子 (社外)
監 査 役	青 木 明 裕
監 査 役	京 谷 典 昭 (社外)
監 査 役	内 木 雅 彦 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	570名

■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
有限会社ビッグブリッジ	132	16.04
株式会社TNNアドバイザーズ	42	5.13
株式会社三井住友銀行	40	4.98
大橋 宏成	30	3.71
大橋 尚子	28	3.41
内藤 征吾	25	3.04
大橋 智成	20	2.49
大橋 千津子	20	2.44
久保田 正明	20	2.43
富岡 友子	19	2.37

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

